

住居確保給付金 自立に向けた活動状況報告書

〇〇〇〇年 〇月 〇日

町田市長 稲垣 康治 様

フリガナ ジュウキョ タロウ
氏名 住居 太郎
住所 町田市〇〇町〇-〇-〇
電話番号 〇〇〇〇〇〇〇〇

私は、自立に向けて、以下のとおり活動を行いましたので、報告します。

また、経営相談先から就労を勧められた場合についても、あわせて自立相談支援機関へ報告します。

1. 自立に向けた活動

経営相談先への相談回数 4 回

2. 自立に向けた活動計画

添付のとおり ※自立に向けた活動計画を添付

3. 活動状況

経営相談先への相談

相談場所	相談機関	〇〇〇〇		
	住所	東京都〇〇市〇-〇-〇		
	電話番号	▲▲-▲▲▲▲-▲▲▲▲		
方法 (1. 対面 2. オンライン 3. 電話 4. メール 5. その他)	相談日	■年■月■日(■) (時間: 10:00~23:00)		
	方法	対面	担当者	△△ △△
	具体的な相談内容	資金調達のために必要な事業計画書の作成について、アドバイスを貰う中で、事業化に向けて取り組むべき課題のリストアップ(競合他社との差別化、パッケージの刷新など)、優先順位がつけられた。まずは〇〇銀行へ資金調達を行いつつ、ターゲットを絞るためのニーズ分析をしていくことを相談した。		

相談場所	相談機関			
	住所			
	電話番号			
方法 (1. 対面 2. オンライン 3. 電話 4. メール 5. その他)	相談日	年 月 日 ()	(時間: ~)	
	方法		担当者	
	具体的な相談内容			

□自立に向けた活動計画に沿った活動

活動日	活動内容(※)	取組の効果
12月1日	収支計画の相談	・ 不用額の見直しが図れた ・ 課題が明確になった
12月2日	収支計画の作成	・ 助成金・融資の検討が必要
12月8日	助成金、融資の利用相談	・ 利用できる助成金はなかった ・ 融資の申請準備を行った(○日申請予定)
12月22日	広報の方法を相談	・ 効果的な広報手段が明確になった ・ SNS 広報セミナーの申込
12月26日	SNS 広報のセミナー受講 場所：○○会館 主催者：○○○○ 主催者連絡先：00-0000-0000	・ 広報の仕方が分かった

※ 経営相談や自立に資するセミナー等の受講をした場合は、参加したセミナーの開催状況の分かる
ちらし等を添付すること。

上記3. 活動状況について、自治体が必要と認める場合に、活動内容に記載された経営相談
先等に、活動内容の実施状況について照会することに同意します。

○○○○年 ○月 ○日

町田市長 稲垣 康治 様

申請者氏名 住居 太郎